

今後の検討課題

「高速道路を賢く使う取組」に係る今後の検討の方向性(案)

＜これまでの取組＞

更新・大規模修繕のための財源の確保
(料金徴収期限の延長)

利用重視の料金体系の導入
全 国(H26.4～):3つの料金水準に整理
首都圏(H28.4～):料金水準の整理・統一
同一発着同一料金の導入
近畿圏(H29.6～):料金水準の整理・統一
ネットワーク整備との両立

＜残る主要課題＞

- 利用者視点での整理(中京圏の料金体系/有料・無料の整理等)
- 維持管理・更新に係る負担のあり方
- ETCの普及促進・義務化等
- 高速道路の安全対策

①高速道路ネットワークの
整備の進展

②生産性向上に対する
社会的要請と技術革新
・ビッグデータ
・自動運転 等

③高速道路に係る新たな課題
の顕在化
・逆走事故
・暫定二車線の飛び出し事故
・休憩施設の不足 等

④頻発する災害
・熊本地震
・台風10号(北海道等)

ネットワーク整備の進展を踏まえ、利用者視点のもと、新技術等を活用した
高速道路の安全・安心に係る賢い取組の基本方針(案)をとりまとめ

今後の検討課題(案)

高速道路の安全・安心に係る賢い取組の基本方針(案)の検討にあたっての論点

<検討対象について>

- 対向車線への飛び出しや逆走など交通安全に係る課題に加え、災害による通行規制や休憩施設の不足など安心や使いやすさに係る課題も対象に、総合的な安全対策として検討すべきではないか。

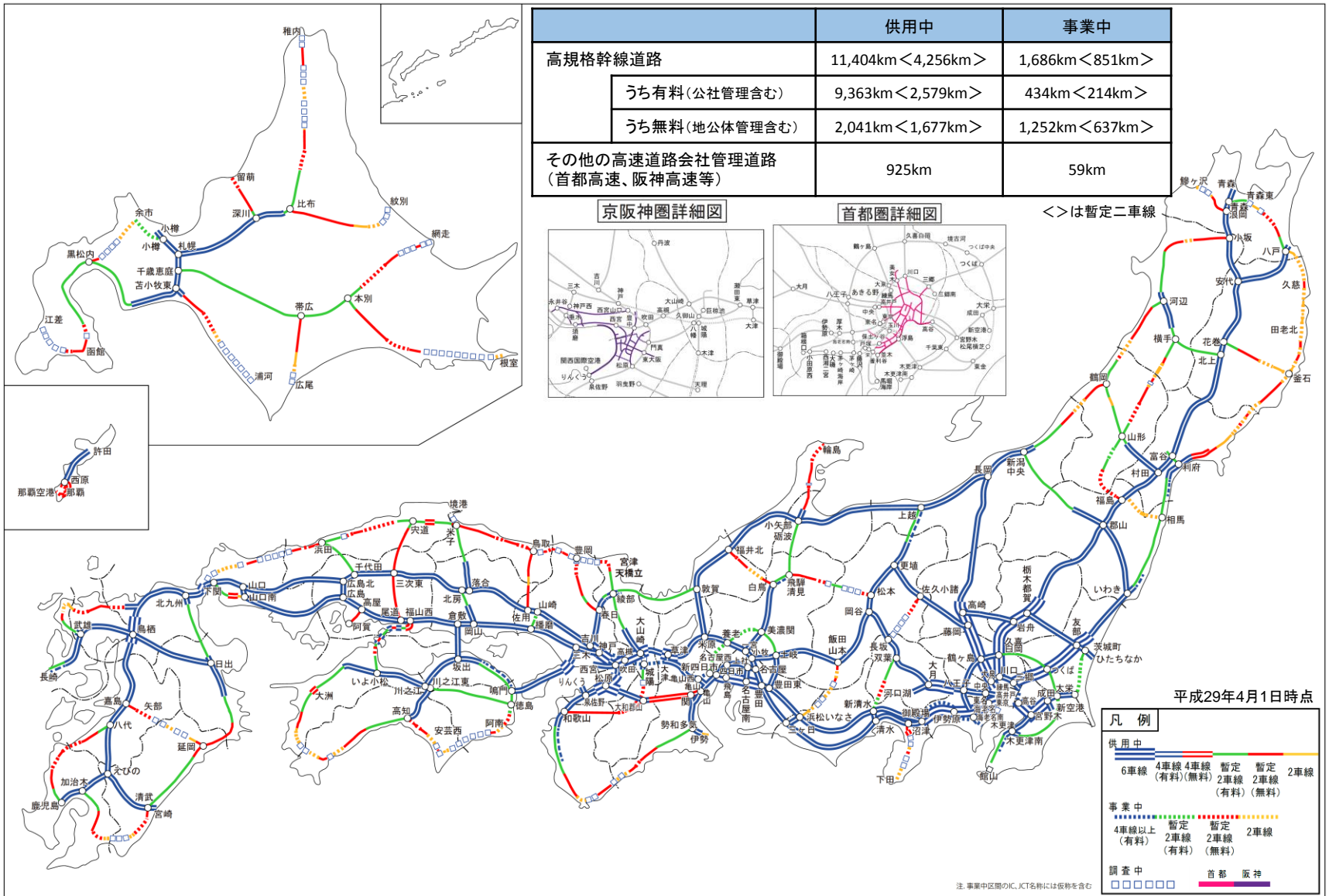
<取組の枠組みについて>

- 基本方針を踏まえ、どのような計画の体系とすべきか、また計画の内容として、目指すべき水準や達成時期などを明らかにすべきか。
- 取組の効果を高めるため、他分野との積極的な連携やユーザーへ利用方法の改善を促すことも必要ではないか。

<費用負担のあり方について>

- 基本方針を踏まえた取組の実施に必要な費用負担のあり方について、有料・無料それぞれの道路において、どのように考えるか。

対象とする路線(案)



検討の範囲(案)

- 対向車線への飛び出しや逆走など交通安全に係る課題に加え、災害による通行規制や休憩施設の不足など安心や使いやすさに係る課題も対象に、総合的な安全対策として検討すべきではないか。

<生産性向上に資するインフラの安全・安心を確保>

交通安全

四車線化区間等における交通事故
暫定二車線区間における対向車線飛出し事故
自動車の逆走
歩行者、自転車などの誤進入

+

使いやすさ

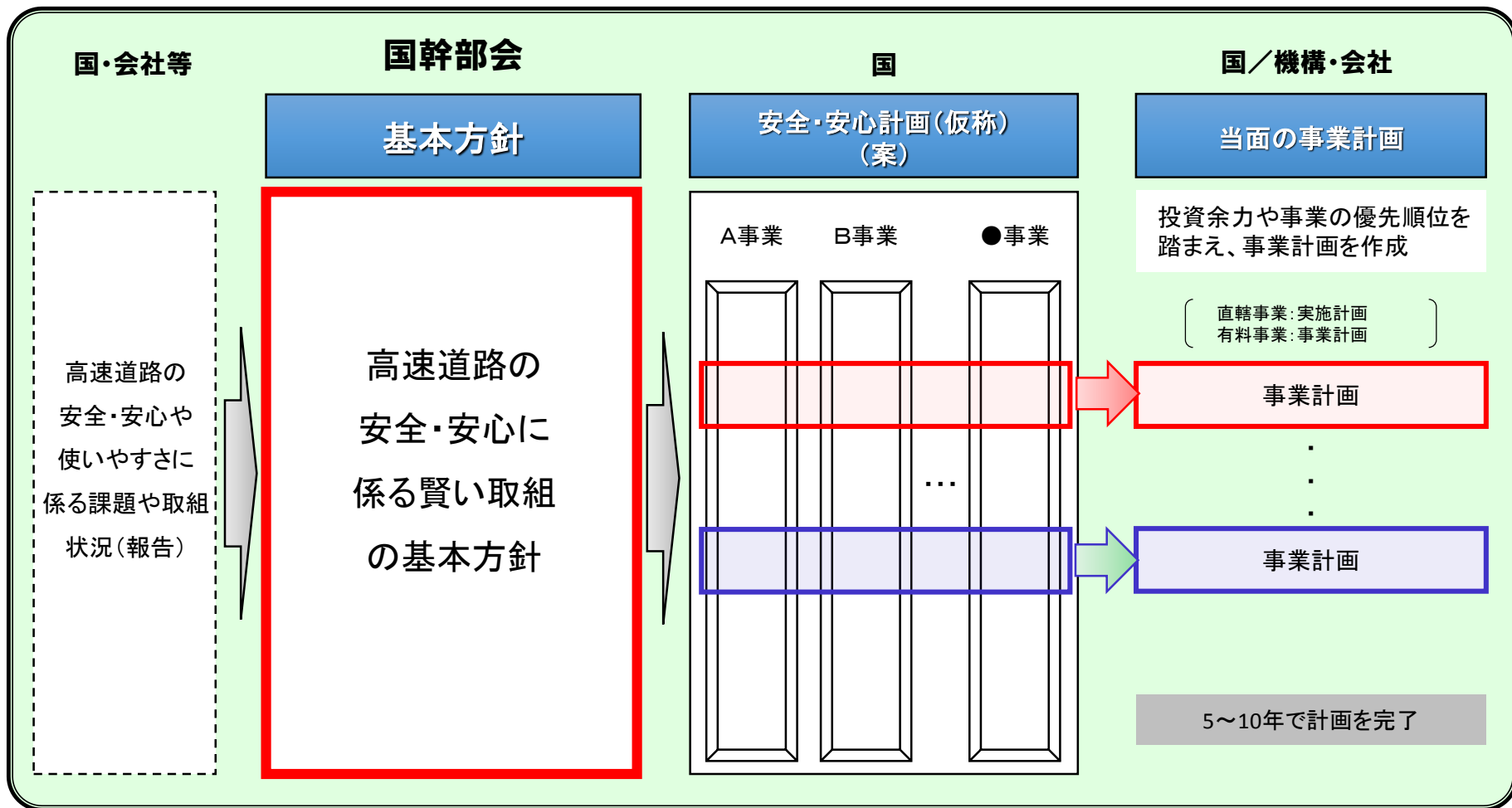
休憩施設の混雑やガソリンスタンドの空白区間
使いにくい休憩施設
外国人にとって不親切な案内
他の交通モードとの不十分な連携

信頼性(防災等) 空間の有効活用

頻発する災害への備え	十分に活用されていない走行空間(登坂車線等)
災害や悪天候による長期間の通行規制	
事故や路上工事による通行規制	

計画の体系(案)

- 基本方針を踏まえ、どのような計画の体系とすべきか、また計画の内容として、目指すべき水準や達成時期などを明らかにすべきか。

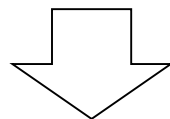


今後のスケジュール

高速道路における安全・安心や使いやすさに係る検討のスケジュール(案)

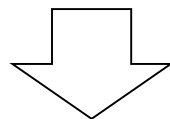
5月24日(水)

高速道路における安全・安心や使いやすさに
係る課題や取組状況



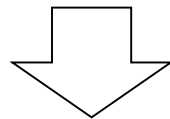
関係団体等よりヒアリング

- ・地方公共団体
- ・道路利用者団体
- ・高速道路会社 等



夏頃

高速道路の安全・安心に係る賢い取組の
基本方針(案)とりまとめ



基本方針(案)に基づき、国において安全・安心計画(仮称)を策定